



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA  
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S

# The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998

国際会長主題	「希望の灯となろう」	“Be the Light of Hope”
アジア地域会長主題	「希望の灯となろう」	“Be the Light of Hope”
西日本区理事主題	「思いやりを持ってワイズライフを！」	“Enjoy Y's life with Consideration !”
中部部長主題	「楽しくワイズ、スクラム組んで」	
金沢クラブ会長主題	「大樹も双葉から」	

## 3 月間強調 E F ・ J W F

2009

### 今月の聖句

イエスは言われた。「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。  
ヨハネによる福音書 11 章 25 節

### 3月強調月間

この事業を通しての“ワイズとは”を考えよう。  
ファンド事業主任 島崎 正剛  
(名古屋プラザクラブ)

### 3月例会プログラム

とき	2009年3月19日(木) 18:30~20:30
ところ	金沢ニューグランドホテル
	司会 斎藤忠夫君
開会・点鐘	伊藤会長
主 題	司 会 者
ワイズ・ソング	一 同
今月の聖句	司 会 者
ハッピーバースデー	伊藤会長
ゲスト紹介	草野功一君
食前の感謝	山谷澄君
~~~~~	会 食 ~~~~~
スピーチ	「働くことの男女差」 石川労働局雇用均等室長補佐 栗山僚子氏
委員会報告	各 委 員
ニコニコタイム	幸正一誠君
Y M C A の 歌	一 同
閉会・点鐘	伊藤会長

### 2月 クラブ出席

在籍者	11名(功労・広義会員各1名を含む)		
メ ン	8名	メネット	6名
メキヤップ	0名	コメント	0名
出席率	88%	ゲスト	2名

第1例会(2月19日 Thu.) 出席者  
メ ン: 伊藤、影山、数澤、高口、幸正、澁谷、山内、山谷  
メネット: 伊藤、数澤、高口、澁谷、山内、山谷  
ゲスト: 高(スピーカー)、高文子

第2例会(2月1日 Sun.) 出席者  
メ ン: 伊藤、数澤、幸正、草野、澁谷  
メネット: 山内

ニコニコタイム	10,000円
クラブファンド 累計	81,300円

<b>BFポイント</b> 切手 1.78 kg	現金 1,068円
累計 1.78 kg	累計 1,068円

会 長	伊藤 仁信	書 記	幸正 一誠
副会長	山内 健司		澁谷洋太郎
	高口 昇	会 計	澁谷洋太郎
直前会長	伊藤 仁信	メネット会長	山内ミハル

第一例会: 毎月第三木曜日 18:30~20:30  
金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311  
第二例会: 毎月1日 18:30~20:00  
金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

## NHK・ラジオ深夜便のつどい

影山 雅一

平成7年1月、雪の降り積もる金沢で、「ラジオ深夜便のつどい」が開催され、初めて参加してみました。

そこには、白山市市原（旧、石川郡吉野谷村市原）在住の、吉岡好男さん(90歳)も参加しており、以後親しい交流が続いておりました。

今年も元旦に吉岡さんからの年賀状が届きました。添え書きに、「平素の疎遠深く詫びます。宇田川さんの深夜便、少々遠くても、一度参加したいものです。機会あらば誘って頂きたいものです」と書いてありました。

今まで、吉岡さんとは、滋賀県大津市、愛知県豊橋市、兵庫県洲本市、長野県佐久市など、宇田川清江アンカーが出演される、「ラジオ深夜便のつどい」に参加してきたものでした。そのほかにも、親しい知人を誘って、北海道旭川市、岐阜県下呂町、横浜市、三重県志摩半島、岡山県牛窓町での「ラジオ深夜便のつどい」に参加しておりました。

本年2月6日(金)、和歌山県の知人を訪問したあと、奈良県橿原市今井町の民宿で一泊し、よく2月7日(土)午後1時30分からの、奈良県吉野郡下市町の「ラジオ深夜便のつどい」に参加しておりました。

第1部の講演会は、「語りの魅力を伝える」と題して、おはなしサークル・がらがら<sup>かおる</sup>どんどの村上郁さんのお話しでした。

そして第2部アンカーを囲むつどいは、宇田川清江、水野節彦<sup>ふせひこ</sup>両アナウンサーでした。この集会が終わってから、会場ロビーでサイン会があり、宇田川さん、水野さんとも親しく話し合うことができました。

宇田川さんは、20年前のラジオ深夜便番組発足当初から連続してこの放送を担当して来られました。そこで宇田川さんに聴いてみました。来年もまた「ラジオ深夜便のつどい」に出演されますかの問いに、すでに出演希望を提出してありますとの答えでした。

ご高齢でも、現役で深夜6時間近くの放送担当で活躍される宇田川さん。そして、このラジオ深夜便放送を愛し続ける白山市、吉岡さんの意欲満々の人生観を見習いたいものです。

是非来年は、吉岡さんと共に、「ラジオ深夜便のつどい」参加を実現させたいと思います。

年齢的に体力の衰えは仕方がないとしても「あきらめない心」だけは、いつまでも、いつまでも忘れないようにしたいものです。

## 2月例会 一高 剋彦氏のスピーチから

お話しに先立って、1冊の本を一人ひとりに贈呈いただきました。それが後のお話しに出てくる氏の父上の著になる巣鴨拘置所での生活を書いた日誌です。

「おやじの背中」要旨

### ◇父 藤一のこと

昭和10年石川県立松任農学校卒業。15年日本大学卒業。16年甲種幹部試験に合格。19年南方第六支隊輸送指揮官として南太平洋サイパン・パラオ・ホーランジア等に転戦。陸軍中尉に任官。内地帰還後東部第五十一部隊に復帰。長野県須坂市松代町において大本営移駐のための陣地構築に当たる。(後日この地に行ってみ学したがすばらしい建造物であることに驚いた。一見の価値あり。)

昭和23年連合軍横浜軍事裁判所において重労働5年の判決をうける。(B級戦犯とのこと)

昭和20年、時の金沢第九師団に対し新しい師団編成の命令が出された。師団司令部は千葉県香取郡佐原町に置かれ、九十九里浜一帯に南北に細長く展開した。当時の最たる情報としては米軍はこの九十九里浜に上陸を企図し、その機を伺っているとのことである。わが部隊の任務はこの上陸部隊を水際において撃滅するのが目的であった。たまたまその6月23日午後1時頃香取市久賀村に米軍P51一機が撃墜された。その日私は師団司令部の日直士官の勤務についていた。司令部に連行されたその兵士が重傷のため死亡した。軍人や市民による暴行などがあつたと一部に噂が立ち、連合軍はこれをリンチ事件として取り上げ、極東軍事裁判に提訴した。このため日直士官として私が最高責任者ということで突然逮捕され、東京巣鴨拘置所に強制収監されたのがいきさつである。

1948年5月、横浜軍事法廷において行われた最終公判の結果、「ミスター高、連合軍最高司令官はあなたの重労働5年の判決は『不承認』ということにより、本日釈放する。」



春はまだ少し早い、東京の空は美しく晴れ上がっていた。一面焼け野原と化した巣鴨一帯、その中の駅舎のホームに立って、拘置所の屋上に翻翻と翻る星条旗を茫然と眺めていた(巣鴨日記より)

この父のことについてあまりにも何も知らないことばかりであると知り、親戚の人に聞いたり、巣鴨日記を読んだりして、父の生き様について知った次第です。父はとにかく趣味が多く、短歌、<sup>うたい</sup>謡、囲碁、書、生花等々で、どれをとってもそれなりにこなしていたようです。戦後金沢市役所に入り、辰口の職員なども経験しています。

私は父には負けないという思いはあるが、父の生き方を見ることを通して家族のこと、死のこと、宗教のこと等が拘置所の生活の文の中にかがえます。

私は今年1月に退職しましたが、在職中よく王維の別れの詩を歌いました。

× × × × ×

スピーチの後、会員の要望にこたえて、前記別れの歌を吟じられ、一同拝聴しました。(文責 山内健司)

あわ	やま	りょう	こ
粟	山	僚	子
京都府京都市 同志社大学法学部卒			
平成元年 旧労働省 愛知婦人少年室に採用			
平成5年 同 省 福井婦人少年室に異動			
平成9年 同 省 石川婦人少年室に異動			
(平成12年 石川婦人少年室が石川労働局に組織変更)			
現 在 石川労働局雇用均等室室長補佐兼地方機会均等指導官			
小学生4年生時に、YNCAに出会い、小・中・高・大学とYMCAに親しみ、大学時代にはYリーダーとして野外活動に活躍。			
現在、同業の夫君と小学一年生の子息の3人で金沢に在住。趣味は登山・実践空手			

#### ☆中部評議会

日 時 2009年3月21日(祝・土) 13:30~14:30

場 所 東別院会館ホール

出席予定 伊藤君、数澤君、澁谷君

#### ☆中部チャリティ企画

日 時 2009年3月21日(祝・土) 15:30~

場 所 東別院会館ホール

内 容 人形劇団「紙風船」とムッシュ・ピエールによるマジック公演

会 費 3,000円

多くの参加者を望みます。

#### ☆蒲生野クラブ・富士宮クラブとの合同例会

日 時 2009年4月11日(土) 17:30

~12日(日)12:00

場 所 金沢ニューグランドホテル

登録費 8,000円

#### ☆第69回ワイズメンズクラブ国際大会

日 時 2010年8月5日(木)~8日(日)

場 所 パシフィコ横浜(横浜市)

テーマ 「いのち」未来への継承

—私たちの地球のために—

参加申込 東日本区へ(一括申込)

ピンバッジ 500円(5個購入、希望者は会計まで)

#### ☆BF・Yサ・ASF献金

YサASF献金 1,350円/1人、

BF 1,650円/1人 合計 3,000/1人

例会時にお持ちください。(担当 高口)

#### ☆ロールバック マラリア

9,000円(900円×10名)送金しました。

#### ☆第12回西日本区大会

日 時 2009年6月6日(土)~7日(日)

場 所 熊本市市民会館

参加予定 伊藤君・メット、数澤君・メット、澁谷君・メット

~~~~~ YMCAだより ~~~~~

#### ☆早天祈祷会

日 時 4月1日(日) 6:00~7:00

場 所 金沢YMCA集会室

#### ☆YMCA理事会

日 時 3月27日(金)19:00

場 所 YMCA集会室

#### ☆小野陽子さん(YMCA職員)退職

3月末をもって退職されます。長い間ご苦勞様でした。

#### Happy Birthday

メ ン: 3月9日 山谷 澄君

メネット: 3月4日 数澤 淑子さん

#### 3月の担当

4月ブリテン執筆: 数澤輝夫君・高口紀子さん

4月卓話担当: 高口 昇君

「どないしょう 裁判員の当りくじ」

これは、昨年末大阪弁川柳コンテストの大賞作品であるとのことでした。

11月29日(土)、ぶらりと京都駅ビルの伊勢丹に出かけたところ、たまたま、駅ビルの大階段広場で、京都弁護士会とKBS京都テレビ主催による裁判員制度のPRイベントが行われており、係りの方々の「クイズに挑戦して下さい。素敵な景品が当りますよ。」の声に誘われて、○印と×印の旗を受け取りました。

「裁判員制度は、5月1日から始まる。」は、丸か罰か、という最初の問題で、私は、5月から始まると聞いたことがあるので、○の旗を上げたが、「残念でした。5月1日ではなく、21日からです。」とのことで、「なぜ、21日なのだろう。」と思いながら、早々に退散しました。

帰宅後、このことをメンに話すと、「何してんの。」と言われ、メン、コメ2人と私の家族4人のうち、裁判員になる資格があるのは、私だけだとも聞かされ、裁判員制度について、ひとごとと考え、何も分かっていないことに気付きました。

1週間後の12月6日(土)に京都地方裁判所で、裁判員制度の広報イベントがあるので、締切り直前に、2人で申し込んだと、メンに言われ、私は、帰りには、裁判所向かいの京都御苑でも散策できるかな、という気楽な気持ちで、参加することにしました。

イベント当日は小雨にもかかわらず、昼過ぎから、約110名の老若男女の参加があり、「一日所長」に任命された華道家の池坊美佳さんから、「制度への理解を深め、家族にも話してあげてほしい。」とのあいさつがありました。

その後、グループに分かれて、改装された関係施設を見学し、裁判員の選任手続から裁判の流れを、実際に近い形で、体験しました。

そして、説明役の裁判官が、参加者の中から裁判員を選ぶために、「では、抽選します。」と本番と同じように、パソコンのキーを押して無作為に抽出された6名の番号の中に、なんと私の番号がありました。ドキドキしながら、裁判員裁判用の大法廷に入り、他より一段高い裁判官席と同じ高さの裁判員席に座り、裁判官や裁判員の目線で、席上に置かれたモニターに映し出される現場見取図等を見ながら、火をつけるのを見たという証人とこれを否定する被告人の模擬尋問を聞きました。

評議室では、裁判官から、「この室は、みんなの分

からないこと、思ったこと、考えたことなど、お互いの意見や感想を気軽に話し合う場所です。」と説明がありましたが、これが本番だったら、「あの人が本当に火をつけたのかどうか？」の判断をし、意見を述べることができるのだろうか、と不安に感じました。

夕方近く、雨は上がったものの、ほっこりして、京都御所に立ち寄る余裕もなく、帰路につきました。

今、何かと話題になっている裁判員制度について、貴重な体験をすることができ、少しは身近に感じられるようになったものの、やはり、宝くじには当たっても、できれば、裁判員には選ばれないよう、願うばかりです。  
(草野 敬子 記)

2月例会報告

2月26日(木)、恒例になった「パン教室」が開かれました。10時、講師の森先生宅に集まったメンバーは、伊藤、数澤、高口、澁谷、山谷と私(山内)の7名。ただし、山内はこの日事情で5歳の孫娘を預からなければならぬハメになり、彼女を連れての参加となるため、皆さんの迷惑にならないかと気がかりな私の気も知らず、当人は前日から嬉しくて、自分でさっさとエプロンとネックチーフ(頭にかぶるため)をカバンにつめて準備していたようです。

メニューは「エピファニー スウィート ブレッド」と「ベニー」。エピファニー スウィート ブレッドは、1月6日の公現祭に作って食べるポルトガルのパンで、フランスパン専用粉と強力粉で焼いたスポンジの上にオレンジピール、アンゼリカ、あられ糖、ドレンチェリー、アーモンド(スライス)などきれいにトッピングしました。ベニーはフランスパン専用粉、ライ麦粉にベニエツト(紅麹)、クランベリー、アマニの種を混ぜて焼きました。どちらもたいへん美味で、先生が焼いてくださったものを、昼食に試食し、自分で焼いたものは家族へのお土産に持ち帰りました。ほとんどは先生が手を入れてくださっているのですが、それは隠して、「器具さえあれば、わたしにもこのようなプロ級のパンが焼けるんだよ!」と、自慢の1日でした。

(山内ミハル記)

